

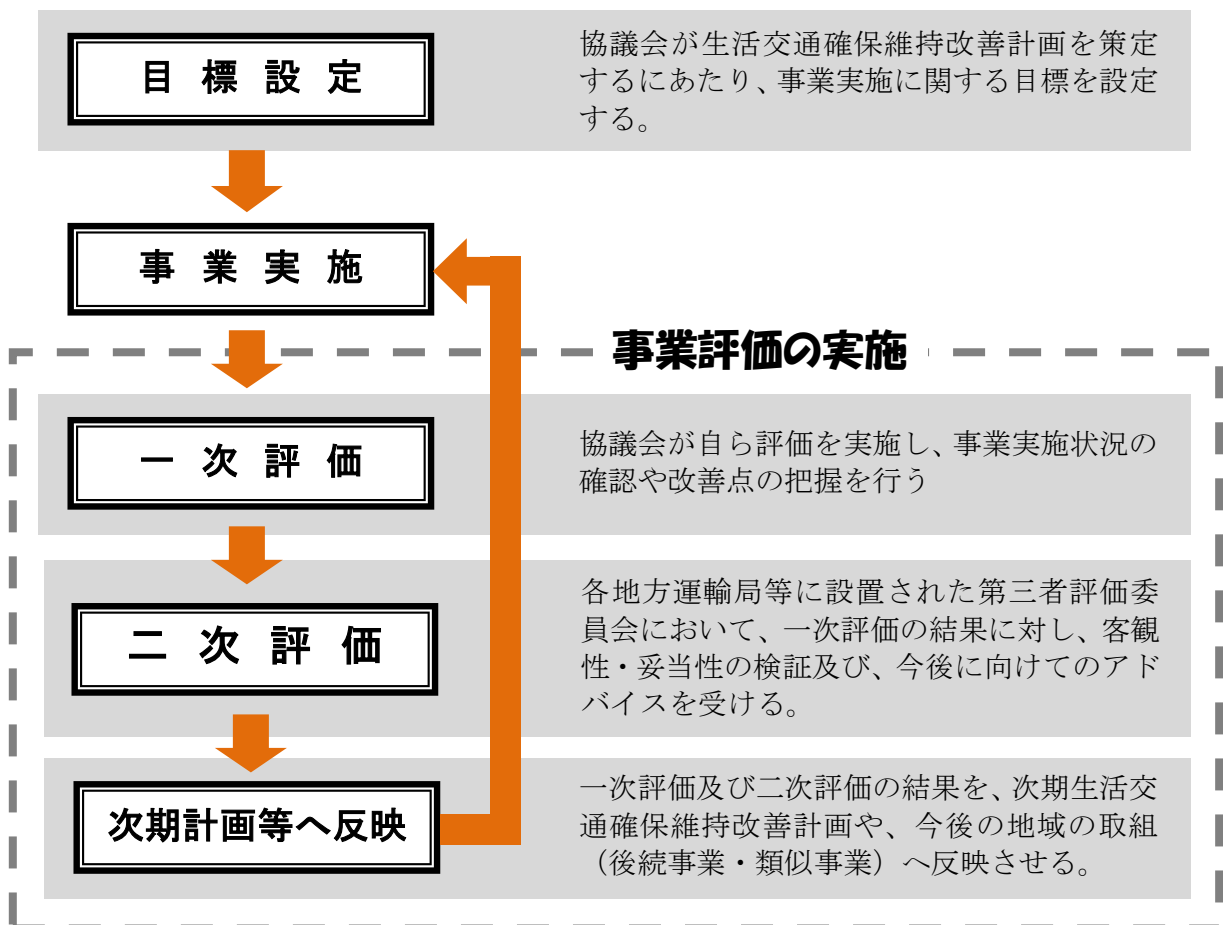
国庫補助事業（地域公共交通確保維持改善事業）に関する事業評価の実施について

1 事業評価

(1) 概要

地域公共交通確保維持改善事業による支援を受けた事業については、毎年度、協議会（本市では、地域公共交通会議）が自ら事業の実施状況の確認、評価を行い、国に報告することとなっている。

(2) 事業評価の流れ



2 今回の対象事業

平成29年度事業（平成28年10月1日～平成29年9月30日運行分）

運行事業者 (補助対象事業者)	運行系統名	国庫補助額
徳島バス株式会社	川内循環線	3, 128千円
	渋野線	5, 707千円
	小計①	8, 835千円
有限会社東丸タクシー	応神ふれあいバス (マルナカ成長店行き)	344千円
	応神ふれあいバス (キョーエイ北島店行き)	597千円
	小計②	941千円
合計(①+②)		9, 776千円

3 一次評価（自己評価）

別紙（案）のとおり

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成29年12月22日

協議会名： 徳島市地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
徳島バス株式会社	川内循環線 (徳島駅～川内支所・富吉団地～徳島駅)	利用実態調査を実施し、現状把握に努めた。 また、バスロケーションシステムの導入により、利便性の向上に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 年間目標112,623人に対し、102,020人の利用があった。 (阿波おどり期間の利用が減少したことや台風による運休もあり、目標を下回った)	利用実態調査の実施による現状把握に努めるとともに、バスロケーションシステムを活用し、利便性の向上に努める。
徳島バス株式会社	渋野線 (徳島駅～動物園・渋野～丈六寺南)	利用実態調査を実施し、現状把握に努めた。 また、バスロケーションシステムの導入により、利便性の向上に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 年間目標58,094人に対し、60,755人の利用があった。 (臨時便を運行したこともあり、目標を上回った)	利用実態調査の実施による現状把握に努めるとともに、バスロケーションシステムを活用し、利便性の向上に努める。
有限会社東丸タクシー	応神ふれあいバス (①藤田荘～応神クリニック～マルナカ成長店 ②藤田荘～フジグラン北島～キョーエイ北島店)	運行5周年記念イベントの開催や広報紙の新聞折り込みを行うなど新規利用者の増加に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 年間目標6,000人に対し、4,665人の利用があった。 (新規利用者が伸び悩んだことにより、目標を下回った)	地域に密着したきめ細かなサービス向上に努めるとともに、広報紙の新聞折り込みを継続するなど新規利用者の増加に努める。

【各評価項目の評価基準】

④事業実施の適切性

- A…事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。
- B…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。
- C…事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった。

⑤目標・効果達成状況

- A…事業が計画に位置付けられた目標を達成した(する見込み)。
- B…事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)。
- C…事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)。